

◆ 平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
代表者：実行委員長長川島秀男 副実行委員長長吉田尚弥
URL：

19A-36

1. 活動が必要とされた状況

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会は、市民に自然再生の取り組み状況を知ってもらい、今後、ボランティア活動への参加、支援を期待しています。特に、子どもたちが楽しく遊びながら、自然再生地に足を向けてもらえればと考えています。将来、地域あるいは首都圏の市民の憩いの場所、エコツーリズムの場所として役立てば、荒川流域の地方創生にも繋がるものと思います。



開会式

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期：平成 28 年 10 月 16 日（土）9:00～12:00

参加人数：小中学生と保護者、高校生、大学生等約 150 名

活動内容：遊ぼう！学ぼう！たろうえもん

～自然再生の活動を体験しよう～



除草セイタカアワダチソウ

除草、昆虫標本コーナーでは、セイタカアワダチソウを抜き、バッタなどの昆虫標本づくりを行いました。魚の観察コーナーでは、投網体験、魚の観察、釣りゲームなどを行いました。トン汁コーナーでは、地元産のサトイモ、ゴボウ、ニンジン、コウノトリ米粉餅など試食し、自然の中でたのしいひとときを過ごしました。



投網体験

参加者を 4 班に分け、参加者はすべての班を体験、巡回してもらいました。当日採集された魚類は、コイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、タイリクバラタナゴ、オイカワ、モツゴ、タモロコ、ニゴイおよびブルーギルなどでした。エビ類、ウナギ、モクズカニ、ヘビなど加え、生体展示し、生き物に関心と興味を持ってもらいました。大空には、ノスリやトビがゆったりと舞っていました。



トン汁を楽しむ参加者

3. 活動の成果

晩秋の秋晴の下、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会は 28 年度秋のイベントを無事終了することができました。荒川太郎右衛門地区流域の子どもたちを主役としたイベントができたことは大きな成果だと思います。地元川島町生産者の協力により、新鮮な野菜の提供を受け、おいしいトン汁を参会者に味わっていただきました。

4. 今後に残された課題

- ・今年も、お天気に恵まれました。自然再生のイベントはお天気が良ければ 90% 成功です。
- ・今年も、ケガ人もなく、遊び、自然に親しんでもらえ良かったと思います。
- ・今後とも、様々な生き物に出会えるイベントとなるよう工夫します。